科学概論第一・第二　講義日程
General Science I and II

前学期/後学期　　単位数　各2-0-0

【担当教官】

梶　雅範准教授　大岡山西9号館　4階　410号室（内線2270）
E-mail　　kaji.m.aa@m.titech.ac.jp

月曜日（10:45-12:15）

（科学概論第一の評価の仕方）

（1）平常点（感想カード20点）

（2）期末課題レポート（80点）

二分の一以上出席がないと評価の対象にならない。それ以上の出席は、レポートの成績に加点される。

（3）博物館見学レポート（国立科学博物館＋αで20点　4月末出題）

（講義の形式）

科学概論第一（General Science I）

前学期　　2－0－0

自然科学・技術の本質，その方法，その社会的機能などについて，科学の通史を通して講義する。第一では，科学の誕生から近代科学の成立を経て19世紀までの通史をとりあげる。ギリシア、ローマ、イスラムにも触れるが、主として欧米で歴史をたどる。科学的方法，科学的自然観についても考える。

科学概論第二（General Science II）

後学期　　2－0－0

第一に引き続いて、19世紀末以降、主として20世紀から現代にいたるまでの科学の通史を題材として科学・技術について考える。あわせて、同時代の中国や日本の事例や東工大の歴史についても触れる。

科学概論第一（105/3605）　講義日程

2013年（平成25年）前期　申告番号　105/3605

時間帯：3・4時限（10:45-12:15）　教室：W933

4/8（1）科学のはじまり：古代ギリシアへの道（ガイダンスを含む）

4/15（2）古代ギリシアとアリストテレスによる集大成

4/22（3）文化の伝達としての翻訳：ヘレニズム、ローマ、アラビア

5/9　（木）（月曜日の講義）（4）中世ヨーロッパでの大学制度の成立

5/13　休講

5/20（5）近代ヨーロッパと近代科学：コペルニクス

5/27（6）ガリレオのたどった道：学会と科学（1）

6/3（7）ニュートンとその影響：学会と科学（2）

6/10（8）フランス革命と科学制度：学会と科学（3）

6/17（9）現代の出発点としての産業革命

6/24（10）職業的科学者の成立：リービヒと科学教育

7/1　（11）ダーウィンと進化論の反響

7/8　（12）科学と産業：アンモニア合成

7/15（海の日　授業実施）（13）科学と戦争：毒ガスとハーバー

7/23　休講

教科書（高校用の世界史・日本史の図録・年表）：

『アカデミア世界史』浜島書店、ISBN 978-4-8343-2026-8、848円（第一・第二）